

保護者同士をつなぐ第2回「にっこりくらぶ」開催【竜北東小学校CS】



12月9日(土)持久走大会に合わせて、「にっこりくらぶ」を開催しました。今回は、い草で作ったリースをもとに、各々がクリスマスリースでも、お正月用のしめ縄飾りでも作りたいものができるよう準備しました。持久走大会に合わせ開催したこともあり、たくさんの参加者が集い、作業をしながら保護者間のおしゃべりも弾んで、それぞれに素敵なリースができました。

2日間かけて材料や段取りなど準備したCS委員も、「準備が大変だったと思いますが、簡単に作れた分いろんな方と話ができ楽しかったです。」という声に、「やって良かった!」と、また次回の「にっこりくらぶ」に向け意欲を燃やしていました。

受験に向け中学3年生へエール「ようこそ先輩」【氷川中学校CS】

12月21日(木)氷川中学校を卒業した高校生4人が、中学3年生へ受験に向けエールを送るため学び舎を訪れました。それぞれ受験への心構えや勉強方法、受験当日の様子、高校生活について、将来の夢などを語りました。日頃の時間の使い方、学習テキストの取り組み方、使い方によっては「悪魔と化すスマホ」との関わり方など、実体験や失敗談を交え話す先輩の言葉は、具体的で、とても3年生に響いたようでした。

4人ともに口に「受験は、団体戦!」という言葉それぞれが胸に秘め、力を合わせて受験という壁をみんなで乗り越えて欲しいと応援しています。



お正月に向けて恒例の門松づくり【宮原小CS】



12月21日(木)宮原小学校で、年末恒例の門松づくりを行いました。気温4度の中、寒さにも負けず、CS委員と立神地区の3人の有志にお手伝いいただき、また地域からも松竹梅の枝やい草農家のござなどを快くお裾分けいただき、今年も立派な門松を校門に飾ることができました。

雪の舞う中、各学年の子どもたちも作業を見に来て、門松の由来や材料などについて熱心に聞いていました。最後に来た6年生がすき間に大きめの松ぼっくりを敷き詰めて完成。氷川中学生が「地域で育てる宮っ子」、「地域とともに150周年」、「迎春」の文字も毛筆で書いてくれて、花を添えてくれました。

来年もたくさんの地域の皆さんとともに宮っ子の活躍を応援していきます。